



Photograph 7・8月

今月の一枚 This month's best shot

撮影／運動公園



壱万発の大乱舞

富士山すその大花火大会が6日に行われました。今年の大花火大会のテーマは「壱万発の大乱舞」。昨年より1千発多い1万発の花火が打ち上げられました。陸上競技場の芝生席と野球場のスタンド席を新たに観客席に追加。約38,000人の来場者が、音楽とレーザー光線を駆使した演出に酔いしれました。



キヤノンと大規模災害時に支援協力 7月21日

市とキヤノン(株)富士裾野リサーチパークが「大規模震災時における支援協力に関する協定」を結びました。執行役員の宮本巖恭さんと高村市長が協定書に署名をしました。救援・救護活動、生活物資や救援物資の受け入れなどの分野で連携することになります。



ガンバレ!“すそのん”“太陽リィ・美味リィ” 7月22日

ゆるキャラ。グランプリ 2016 の投票開始に合わせ、“すそのん”とJAなんすんのキャラクター“太陽リィ・美味リィ”の合同応援集会を行いました。西幼稚園と東保育園のお友だちなど約100人が応援に駆けつけました。“すそのん”は、合50位以内を目指します。



障がい者野球の9チームが熱い戦い 7月30日

全国の障がい者野球9チームが参加し、「第13回 DREAM CUP」が運動公園野球場とトヨタ野球場で行われました。地元から「静岡ドリームス」が出場。大会運営には、中学校野球部や裾野高校の生徒など、多くの市民ボランティアの皆さんが参加しました。



災害が起きる前に考えよう 7月30日

災害ボランティアを考えるつどいが、市民文化センターで行われました。パネルディスカッションでは、被災地でボランティア活動を行った方々が、活動で得た経験を発表。災害が起きたとき、ボランティアの受け入れをどのようにするかなど意見を交わしました。



熊本城復興支援チャリティー 7月31日

富岡地区の有志からなる「嶽南ふるさと」が主催する熊本城復興支援チャリティーイベントが行われました。会場の富岡コミュニティセンターは、熊本県の物産品を買い求める多くの地区民でにぎわいました。ステージイベントや餅つき大会なども行われました。



年に一度の大絵図を公開 8月1日

深良地区郷土資料館運営委員会の主催で、大絵図や深良用水に関する古文書などの虫干し会が行われました。深良コミュニティセンター大会議室に畳10枚ほどの大絵図が2枚展示され、来場者の目を引き付けました。保存状態は、おおむね良好でした。



夏休みにロボット作り体験 8月3日

夏休みチャレンジ実験教室が生涯学習センターで行われました。市内に住んでいるアクリルロボット開発者の三井康亘さんの講義のあと、子どもたちはサッカーロボット作りに挑戦。出来上がったロボットを友達と一緒に動かし、楽しいひとときを過ごしました。



9個人1団体が中体連東海大会に出場 8月4日

中体連東海大会出場選手が市役所を訪れました。陸上・水泳・卓球・ソフトボールの大会に9個人1団体の選手が出場しました。選手たちは「自己ベストを出し、上位入賞を目指して頑張りたいです」など市長に東海大会への抱負を語りました。



Photograph 7・8月



深良川を美しく

8月6日

深良川クリーンアップ大作戦が行われました。深良用水の^{すいどう}隧道点検で水が止められるのに合わせ、2年前から実施しています。深良地区区長会と深良地区美しい水と緑保全の会の呼び掛けで、約50人が参加。川べりなどに青々と生い茂った草を手際よく刈りました。



五輪選手の誕生を願って採火と融合

8月6日

リオ五輪の開会式に合わせて、虫眼鏡で太陽から火を起こす採火式が陸上競技場で行われました。裾野陸上教室の主催によるもので、五輪選手誕生の願いが込められています。採火した火は、平成22年2月23日に採火した「富士山の火」と融合されました。



万灯会

8月6日

富士山すその大花火大会が始まる前に、会場の一角で仏教会の皆さんによる万灯会が行われました。19時、灯ろうのロウソクに火が入ります。周辺が薄暗くなるにつれ、優しい光が辺りを包みます。夏まつりの賑わいの中で、心安らぐひとときです。



ゆるキャラとカウントダウン

8月6日

1万発の花火が上がる富士山すその大花火大会のカウントダウンが行われました。19時30分、高村市長の「10・9・8…」の声に合わせて、「すそのん」「ファイゴン」「すーちゃん」など6体のゆるキャラたちが、花火の上がる方向を見ながら体を揺らしていました。



東日本のリトルシニア32チームが入場行進

8月8日

中学生公式野球チーム、リトルシニアの東日本選抜野球大会が裾野球場など、県内や神奈川県内の8会場で行われました。開会式には、地元の「静岡裾野」をはじめ32チームが参加。灼熱の太陽の下、入場行進を行う中学球児にスタンドから拍手が贈られました。



1日半の留学体験

8月8日

イングリッシュ・サマー・ディ・キャンプが生涯学習センターで行われました。市内の小学生14人と中学生9人が参加しました。イラストを使って遊んだり、ALTと会話をしたり日本に居ながら英語だけに触れる1日半になりました。



広島訪問の感想を発表

8月8日

昨年の平和都市宣言を機に、中学生 10 人が 7 月 27 日から 2 泊 3 日の日程で、広島市などを訪問しました。市役所で行われた報告会では、生徒が一人ずつ広島訪問の感想を述べました。感想文は広報すその 9 月 15 日号に掲載します。



道路をきれいに

8月10日

8 月 10 日は道の日です。大正 9 年 8 月 10 日に、日本で初めて近代的道路整備計画が整備されたことから制定されました。この日に合わせて、小柄沢通りと佐野茶畑線周辺の清掃や草刈りが行われ、橋の欄干や道路がすっきりきれいになりました。



ブロックでロボットづくり

8月10日

「3D ブロックロボット作り教室」が東西公民館で行われました。小学 1 ～ 6 年生の児童 23 人が参加。縦、横、斜めにつなぐことができるブロックで自由にロボットを作りました。「こっちに付いたら動かな？」と試行錯誤し、個性豊かなロボットを完成させました。



太鼓の演奏にチャレンジ

8月11日

「聴いて！触れて！はせみきたの和太鼓体験ワークショップ」が市民文化センターで開催されました。講師のはせさんは、市内に住んでいるプロの和太鼓奏者です。約 80 人が参加し、太鼓の種類や歴史、音の違いなどを学びました。実際に演奏も楽しみました。



夏休みに小・中学生が連句会

8月12日

宗祇法師の会が主催し、小・中学生のための連句会が東西公民館で開催されました。参加した 6 人の小・中学生は、2 班に分かれ連句づくりに初挑戦。季語の使い方や創作のルールなどを先生から教わりながら、連句の魅力を経験しました。



JFAアカデミー福島女子が優勝を報告 8月15日

当市が活動拠点の JFA アカデミー福島女子 U-15 が、全日本女子ユースサッカー選手権大会で初優勝を果たし、市長に報告に訪れました。「試合のたびにまとまりが良くなり、優勝につながりました」とキャプテンの富岡千田さん。これからの活躍が楽しみです。